



感謝・誇り・責任

新年度、順調なスタート

4月9日（木）の始業式・入学式から1週間がたちました。緊張や不安の中で過ごした1週間だったと思いますが、中学生になり、新しい学年に進級して、「よしっ、頑張ろう」と前向きに取り組んでいる姿をたくさん見ることができています。

1年生は、とても初々しくやる気に満ちあふれています。出会うと大きな元気な声であいさつをしてくれます。集会の時は話す人に体を向けて話を聴くとことかできます。当たり前のことですが素晴らしいことです。部活体験が昨日で終了しました。本日、入部届の提出です。30日（木）には部活ミーティングがあります。明日からは1泊2日で葛川少年自然の家でふるさと体験学習をおこないます。自然の中で新しい仲間とのつながりを深めてください。

2年生もいい雰囲気です。素直な感じがうかがえます。やるべきことに静かに集中して取り組むことができています。楽しむ時は笑顔で思いっきり楽しんでます。クラスや班での話し合いもしっかりできています。そして、いつもフレンドリーです。1年生の部活体験では、先輩として優しく教える姿がとても頼もしいです。1年生から続いている学年全体のいい雰囲気を大切にしたいと思っています。

3年生はとてもいいスタートを切ることができています。3年生になって全体的にとっても落ち着いています。進路に対して、部活動に対して頑張ろうという気持ちが表情や行動に表れています。始業式や学年集会の聴く態度もとても素晴らしかったです。さすが最上級生です。これから、もっともっと「いい学年」になっていくと思います。楽しみです。



誰もが居心地のいい温かな学校

今年度も真野中学校のスローガンは『誰もが居心地のいい温かな学校～生徒ファーストの学校づくり～』です。そのために「一人ひとりの真野中生を大切にする」こと、校訓である「感謝・誇り・責任」を大切にしたいと思っています。真野中生にとって「誰もが居心地のいい温かな学校」とはどのような学校でしょうか。

「誰もが居心地のいい温かな学校」を次のように考えています。

- ① 誰もが安心・安全に自分らしく生活できる学校。
- ② 誰もがのびのびと話をしたり、行動できる学校。
- ③ 誰もが嫌な思いをしたり、辛い思いをしたりしない学校
- ④ 誰もが笑顔で過ごし、ホッとできる学校



そのため大切なことは次のようなことだと考えています。

- ① 学校のルールをしっかり守る。
- ② 自分勝手な行動や発言はしない。
- ③ 自分の役割を責任をもって果たす。
- ④ 「ありがとう」「おはよう」「ごめんなさい」「大丈夫？」「手伝おうか？」温かい言葉がけを心がける。

みなさんが考える「誰もが居心地のいい温かな学校」とはどのような学校でしょうか。一度考えてみてください。真野中生も、保護者のみなさんも、地域のみなさんも、私たち真野中学校教職員も「真野中学校が大好き」と心から思える「誰もが居心地のいい温かな学校」を真野中生のみなさんと先生たちでつくっていきましょう。